



西へ、東へ
仲間の
皆さんの元へ

日々、勉強
患直に政策を磨く

同志と、
ともに
各級選挙応援

ありがとう
ございます！
国会見学の
皆さんと

Facebookではまぐち誠の活動を見守ってください！

- 1 スマホでfacebookを開く
- 2 「はまぐち誠」を検索
- 3 「いいね！」を押す



URL: <http://www.facebook.com/hamaguchimakoto.jp>

■ はまぐち誠、駆け巡っています！(10月23日現在)

議員生活 1都1道1府14県:計183件
90日経過 **22,222名**の方にお会いしました。

■ はまぐち誠の、役職(10月23日現在)

- [国会]
 ● 参議院経済産業委員会 委員 ● 参議院憲法審査会 委員
 ● 参議院災害対策特別委員会 委員 ● 参議院TPP特別委員会 委員
 ● 参議院議院運営委員会 委員
- [党務]
 ● 参議院国会対策副委員長

お気軽にお立寄りください！

浜口誠事務所
 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
 参議院議員会館1022号室
 TEL:03-6550-1022 FAX:03-6551-1022
 mail:makoto_hamaguchi01@sangiin.go.jp
 URL:<http://www.hamaguchimakoto.com/>



はまぐち誠手帖

活動レポート はまぐち誠手帖 発行 | 民進党参議院比例区第18総支部

参院選で特定の人を応援するには、必ず、**個人名**で投票しましょう。

選挙区も 個人名	比例区も 個人名
--------------------	--------------------



重要だよね。自動車整備士！

国会でも取り上げました!(中面参照)

■ 自動車整備士の実態を確認
 参議院議員選挙に向けて全国をまわる中で、販売会社の皆さんから共通して言われた課題は、『整備士を募集しても、応募がなく、採用したくても採用できない!』という実態でした。こうした声を踏まえ、国土交通省で自動車整備士の人材確保に向けて、どのような取り組みを行っているのかを確認しました。

自動車整備士の実態としては、職場の状況を裏付けるように自動車整備士を目指す若者は、ここ10年間で半減(年間約7千人)しており、平均年齢も44.3歳と高齢化も進展。また、約5割の整備事業所で整備士が不足、約1割で事業に支障がでているという調査結果も報告されています。さらに、若者の中には、整備士の仕事は、職場環境等から3K仕事というイメージもあるようでした。

重要性の観点からは、自動車整備士の皆さんの日々の仕事である、適切な点検・整備によって自動車ユーザーや車社会の安全と安心が守られており、社会に大きく貢献している重要な職種であると思います。

こうした自動車整備士の魅力や重要性をアピールしていくために、国土交通省や業界団体・事業者が連携した取り組みを始めています。具体的には、イメージ向上の啓発活動(若者向けパンフレット作成)、労働環境・待遇改善に対する先進的な事例の収集・展開、運輸支局長等による高等学校訪問(自動車整備のPRを直接実施)、職場体験学習の推進(現地現物でサービス工場訪問等)、女性も作業しやすい設備・機器等の環境整備、といった内容です。

■ 若者に自動車整備士の魅力をアピール
 今後、多くの若者達に自動車整備士を目指してもらうためには、その魅力や重要性を発信して、イメージアップを図っていくことが非常に重要になると思います。

魅力としては、自動車保有台数は全国で約8千万台以上あり、自動車の点検・整備需要は、将来にわたり安定的に発生し、景気動向等による影響が比較的少ない安定した仕事だということ。また、自動車整備士は、何と言っても国が認めた『国家資格』であり、自動車の構造や整備に関する知識・スキルを持ったスペシャリストだという点です。

■ これから目指す先…
 今後も、自動車整備士不足は、日本のクルマ社会にとって大変重要な課題であるとの認識をもって、国と関係団体が連携した取り組みを推進していくことが大切です。私も、職場の実態や現場で働く整備士の皆さんの意見や要望を国土交通省等に伝えるとともに、自動車整備士を目指す若者が増えるよう、国政で取り組んでいきたいと思っています。

参議院議員 **浜口誠**

はまぐち誠 堂々の国会質問デビュー!

皆さんの声を、国会に届ける!



冒頭 ●1年半全国各地を回り、15万人以上の方とお会いし、お話しを伺ってきた。
●皆さんからいただいた御意見なども踏まえ、質問したい。

01 第4次産業革命(主に自動運転)について



はまぐち誠の訴え

- 自動運転も、世界的な基準・標準を日本が先頭に立って作ることが重要。
- 日本はEU等とは連携して議論しているが、米国は独自の指針を出す等、その枠から外れていないか。米国もしっかり巻き込むべきだ。
- 法制面も重要。今は人が運転することが前提。世に普及させるには法制度の見直しが不可欠。政府はどのように認識し、また対応しているか。

政府答弁

- 経産省として国連会議等も活用しながら、危機感を持って取り組むたい。



世耕経産相



はまぐち誠の主張 オールジャパンで、自動運転技術で世界をリードするために、政府全体としての支援を継続的にお願いしたい!

02 自動車関係諸税について



資料を用いて、現状の問題点を政府・委員に説明

- ①「車は贅沢品」時代に多くの税が課され、「車は生活必需品」の今も継続されている。
- ②「暫定(税率)」と言いながら、既に40年以上が経過。
- ③税金の上に税金をかけている、タックスオンタックスが常態化。
- ④日本の自動車ユーザーは、米国ユーザーの約30倍の税負担をしている。
- ⑤自動車ユーザーが負担した国税金約6,000億円が、自動車と関係ないところに使われている。

配布した資料(一部)▶



政府答弁

- 取得・保有・走行、夫々の段階で重複した課税がなされている。また複雑で負担水準が高い。ずっと暫定が続いているとの指摘があることは、ユーザーの一人としても痛感。
- 経産省として、自動車ユーザー負担の軽減、国内需要の喚起に努めたい。



世耕経産相



はまぐち誠の主張 自動車は国内産業を支える屋台骨であり、地方への波及効果も大きい。平成29年度の税制改正では、経産省と同じ思いで取り組んでいきたい。自動車関係諸税の負担軽減に向けて、しっかり取り組んでほしい!

03 自動車整備士不足について



はまぐち誠の訴え

- 車社会の安全を守る非常に重要な仕事と認識。
- 他方、近年希望者は半減、また整備士の高齢化も進行し、事業に影響が出ていると聞いている。
- 若者の希望者を増やすにはイメージ対策も重要。
- 政府として現状をどう認識し、対策を講じているか。

政府答弁

- 人材確保に向け、学校説明会や職場体験の推進やポスター作成、また先進的な事例の共有等を実施している。



はまぐち誠の主張 「やりました。」と言ったって、誰も知らなかったらやっていることにならない! 若い人が自動車整備士を目指してもらえる仕組みづくりを政府一丸で取り組んでほしい!

※委員会質問の様子は参議院インターネット中継(録画も閲覧できます)でご覧いただけます。▶ <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

蓮舫 民進党 始動!

「批判」から「提案」へ。「批判」から「創造」へ。



国民の皆さんから選ばれる民進党へ!! 全力で取り組みます!! 浜口誠



第1回

はまぐち みんなのまどぐち

はまぐちが、歩いて聴いてきた、仲間の皆さんの疑問や要望に、お応えするコーナー



輸送車両の運転手不足が深刻化

お応えします!! 準中型免許制度の新設等を盛り込んだ改正道路交通法案が昨年成立し、来年3月12日に施行されます。

- 準中型免許とは、
- ①車両総重量3.5t以上7.5t未満のトラックが運転できるようになります。
 - ②いわゆる「2年しばり」がないので、18歳から取得が可能です。

【自動車運転免許制度の歴史】

時々のニーズ等によって、事故抑制などのリスクを考慮しながら、改正が行われています。

以前	種類	普通免許	大型免許	政令大型
	車両総重量	8トン未満	11トン未満	11トン以上
	受験資格	18歳以上	20歳以上 (経験2年以上)	21歳以上 (経験3年以上)

2月 平成19年	種類	普通免許	中型免許	大型免許
	車両総重量	5トン未満	11トン未満	11トン以上
	受験資格	18歳以上	20歳以上 (経験2年以上)	21歳以上 (経験3年以上)

3月 平成29年	種類	普通免許	準中型免許	中型免許	大型免許
	車両総重量	3.5トン未満	7.5トン未満	11トン未満	11トン以上
	受験資格	18歳以上	18歳以上	20歳以上 (経験2年以上)	21歳以上 (経験3年以上)

7.5トン未満は2年縛りがなく取得可能に!! 運転手不足解消へ!!

これからも、ニーズにあった政策が実施されるよう、皆さんの声を、しっかり国政に届けます!



Fin